

令和5年度 四国中央市の国民健康保険事業の運営に関する協議会  
＜第2回会議録＞

日 時 令和6年1月11日（木）午後1時30分～  
場 所 四国中央市役所 市民交流棟2階 会議室

四国中央市 市民部 国保医療課

令和5年度 第2回四国中央市の国民健康保険事業の運営に関する協議会  
会議録

1. 開催の日時及び場所

令和6年1月11日(木) 午後1時30分～3時  
四国中央市役所 市民交流棟2階 会議室

2. 出席委員及び関係者氏名

(1) 出席委員

井下 敏、高原 斉、藤田昌子、榊田美久子、  
豊永文雄、野村信治、香川七俊、田中あけみ、  
藤田貞子、高橋厚徳、原田泰樹、篠原義幸、  
伴 美紀

(2) 欠席委員

石川洋三

(3) 関係者

市長 篠原 実  
市民部長 尾崎智恵子  
国保医療課長 青木計一郎  
課長補佐 山川玲子  
課長補佐 西岡範彦  
国民健康保険係長 浅川朋子  
国民健康保険係長 真鍋弘季  
国民健康保険係主任 三好誠司  
(書記) 高橋拓也

----- 会議の状況 -----

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 市長あいさつ

4. 開議宣言

5. 会議録署名委員の指名について

6. 議 事

『四国中央市国民健康保険の現状と今後の運営について』

1. 愛媛県国民健康保険運営方針
2. 四国中央市国保の現状
3. 今後の保険料の見通し
4. 令和6年度からの料率改定について

7. その他

8. 閉 会

(高橋会長あいさつ)

(市長あいさつ)

会議録署名委員並びに書記の指名

## ■議題1 「愛媛県国民健康保険運営方針について」事務局より説明

【意見・質疑等】

○委員

医療費の平準化とはどういうことか伺いたい。

●事務局

県に納める納付金の算定には、各市町の医療費が反映されているが、それをなくするということである。本市は県内でも医療費が高い方なので、メリットがある。

## ■議題2 「四国中央市国保の現状について」事務局より説明

【意見・質疑等】

○委員

「社保→国保」とはどういうことか伺いたい。

●事務局

会社を退職した場合等、社会保険を抜けて国保に加入した人のことである。逆に「国保→社保」は、就職した場合等で国保を脱退した人のことである。

## ■議題3 「今後の保険料の見通しについて」事務局より説明

【意見・質疑等】

○委員

資産割がなくなるということは、所得割等他のどこかで調整されるということか伺いたい。

●事務局

県の想定としては、所得割：均等割＋平等割＝1：1としている。したがって、資産割分は所得割に振り替えることが理想だが、現段階では残る3方式を同じように上げている。

○委員

納付金の算定には、加入者の年齢層、所得も反映しているのか伺いたい。

●事務局

反映している。

○委員

県全体でかかった医療費を被保険者(被保険者数)で割るという考え方が伺いたい。

●事務局

現在、医療費が高い保険者は納付金が高く、医療費が安い保険者は納付金が安くなっている。令和8年度から少しずつ平準化され、現在のような医療費による差はなくなる。

○委員

一人当たり保険料が12万6千円に近づくように上げていくということであるが、所得の減少、資産割のカットという課題がある中で保険料を現在より約4万円上げるというのは、率は1.5倍以上の上昇となると認識しているか伺いたい。

●事務局

お見込みのとおりである。

○委員

所得割が大きく上昇すると、かなり負担の大きくなる人もいるのではないか。

●事務局

所得のある方は大幅に上がる可能性もある。

#### ■議題4「令和6年度からの料率改定について」事務局より説明

##### 【意見・質疑等】

○委員

Cパターン(毎年1.5万円上げる)が理想であると考えている。また、保険料を上げることについて、丁寧な説明が欠かせないと考えている。

○委員

ゆるやかに上げることが理想的かと思う。累積収支にも余裕がある。  
2, 5, 7割軽減の率を変更することはできないのか伺いたい。

●事務局

軽減率は国が定めていることから、変更できない。

○委員

県の想定が上振れするか下振れするかを見極めていくら上げるか決めることが望ましい。四国中央市ではどのように考えているか伺いたい。

●事務局

県にも確認したが予測できないとのことであった。市としても同様である。

○委員

市としては今回提示した3パターンのいずれかを採用したいということか伺いたい。今まで大幅な改定をしていないため、被保険者にとっては負担感が大きいと考える。そのため、説得力のある検討を行っていただきたい。毎年1万円ずつ上げるというのも選択肢としてあるのではないか。感染症の流行等、将来のことは予想がつかないので、緩やかな上昇が望ましい。

○委員

市としては、毎年1万円ずつ上げるパターンは考えていないのか伺いたい。

●事務局

国保財政の運営に当たっては、1万円の増額では困難であると考えている。  
Cパターンが望ましいと考えている。

○委員

物価上昇等により世の中が疲弊しているので、料率を上げれば収納率は下がると考えられる。

また、丁寧にシミュレーションの上結果を提示すべきである。

○委員

累積収支が0になることへの不安はないか伺いたい。

また、これまで繰越金を使って保険料の上昇を抑えてきたことも含め、市民に丁寧に説明しなければならない。医療費を抑制することも大切であるとする。

●事務局

累積収支は0となるが、今年度の繰越金も含め維持できると考えている。  
本市の医療費が高いことも含め、チラシを作成し啓発する予定である。

○委員

資産割の廃止等、制度の変更について、国保加入者のみならず市民全体に周知していただきたい。

●事務局

広報誌にて周知する予定である。

○委員

医療費がなぜ高いのか、支出を抑えるためにどのような工夫をしているかについて、詳細な周知をしていただきたい。そうでなければ、市民は納得しないと考える。

●議長

以上で質疑を終了する。

■報告事項「産前産後の保険料減免について」「運営協議会（2月）の日程について」事務局より説明

●議長

以上で、令和5年度第2回四国中央市の国民健康保険事業の運営に関する協議会を閉会する。

この会議録が真正であることを証するため、ここに署名する。

会 長

高橋厚徳

会議録署名人

藤田昌子

会議録署名人

豊永文雄